

るはありありとより危めくおまの勢大に勢き悲な
く後藤と一所あるとよりこれほどとあるれ一處に前立
て家先を引返して後にも引まじ物見少くよちのあんと
あまを山の上より大石積木投うけくおま程に足方
へ敵部とてうらうらあ敵多々おもひよるさる所へ近海ふ
程は山北の谷川とて往來五六丁程馬も通ひ難き所
々水が谷へ押寄せれりやう上は海にまかり死もゆりぬに
おまももゆりて城兵おまふまに討たれり此は後藤の
本村造酒之悪仕へ所のまゝに後軍を引きて入り替り戦へ
と馬とけやめあけまゝに往き先は所をやまひて近し戦ひ

とて先きは進んでかけぬり切なき所城兵もゆりぬ所に
味方のうちより坂法之馬と名ふて本村にかけあひむまゝと
組造酒之悪大割の士が水急ち流る所へ押伏せし所原
へももきくたる若武者が水もよく流る所を引替り下より
隙ちくは通へく水もさくも流る所造酒之悪もよるしを
は祿かしてあるとある人皆打落し今度のあまの大物本
村造酒之悪を坂法之馬討たれり高き山を呼んで水を
あつる水のうらやと味方一同襲きよりけりさる敵方大物
うら力もたれりて家先を引返して志摩守清平に
下知して退けし退けしに切なき所とてある者教を